

千葉市基本計画（原案）分野別計画に対する委員からのご意見
 （「健康・福祉」、「子ども・教育」、「地域社会」、「文化・スポーツ」）

No.	分野	政策	施策	頁	該当箇所	文章	意見及び対案	意見の理由	委員
1	健康・福祉			19	全体		分野目標の文章にwell being（あるいはウェルビーイング）を追加してはどうか。	分野目標を（みんながいきいきと、健やかに安心して暮らせるまちを目指します）としているが、それを支える政策や施策の柱との関係がwell beingとの関係でみえにくい。	菊地委員
2	健康・福祉	1	1	20	全体		施策1は、これまでの取り組みに加えて、予防医療のためのプッシュ戦略を積極的に取り入れていくという趣旨か。		菊地委員
3	健康・福祉	1	2	20	全体	・かかりつけ医の普及・啓発や、オンライン診療・服薬指導の促進～ 主な取組み ・かかりつけ医の普及・啓発 ・～	医療対体制の充実については、かかりつけ薬剤師の要素を取り入れた表現とすべきではないか。 （修正案） かかりつけ医・かかりつけ薬剤師の普及・啓発や、オンライン診療・服薬指導の促進～ 主な取組み ・かかりつけ医・かかりつけ薬剤師の普及・啓発 ・～	厚生科学審議会医薬品医療機器制度部会において、かかりつけ薬局・かかりつけ薬剤師について議論され、地域包括ケアシステム構築のためにかかりつけ医とかかりつけ薬局・薬剤師は不可欠とされているため。	市橋委員
4	健康・福祉	1	3	21	主な取組み	墓地・斎園環境の整備	これから、一層の「少子多死社会」を迎えるため、重要なインフラであるという点を補足してはどうか。		菊地委員
5	健康・福祉	2	1	22	主な取組み	地域や社会に役立つ講座など学習機会の提供（高齢者へのICT活用講座など）	主な取組みの「地域や社会に役立つ講座など学習機会の提供（高齢者へのICT活用講座など）」は、やや行政寄りの視点のような印象を受ける。基本的には本人の生きがいがづくりであり、結果として地域や社会に役立つものであると、なおさらよいということではないか。		菊地委員
6	健康・福祉	2	4	23	全体		多分に国の制度の今後の行方に左右される内容であるため、国の動向を見極めつつ、将来多くの自治体が直面するであろう介護人材の確保難に向け、独自の取り組みがあれば記述してはどうか。		菊地委員

千葉県基本計画（原案）分野別計画に対する委員からのご意見
 （「健康・福祉」、「子ども・教育」、「地域社会」、「文化・スポーツ」）

No.	分野	政策	施策	頁	該当箇所	文章	意見及び対案	意見の理由	委員
7	健康・福祉	3	1	24	主な取組み	農福連携の促進	伝福連携という言葉もあるように、作業工程の細分化やモジュール化により就労（支援）を通じた社会参画が広がっているため、農福連携のみが挙げられていることに異論が出るのではないかと。		菊地委員
8	健康・福祉	3	3	25			少子化の裏側で医療の発達により、重症心身障害児や医療的ケア児が増加し、療養支援体制の充実が過去に比べて一層求められているという現状や背景の説明が必要ではないかと。		菊地委員
9	健康・福祉	3	3	25		療育支援体制の充実や、発達障害の早期診断・早期支援などにより、ライフステージに応じた支援を受け、地域で安心して暮らすことができる環境を整備します。	「発達障害」に知的障害も含まれる注釈をつけるか、「発達・知的障害」と併記してほしい。	ここでいう「発達障害」の概念には、「知的障害」も含まれると思うが、一般的な理解としては別のグループという捉え方もあるため。	成田委員
10	健康・福祉	3	3	25	主な取組み	幼少期から成人期までのライフステージに応じた発達障害の支援の推進	「幼少期から成人期までのライフステージに応じた切れ目のない発達障害の支援の推進」と、「切れ目のない」文言追加を検討してほしい。	幼少期から成人期では幼・小・中・高と、環境が変わる人が多い。そのところどころでの引き継ぎが重要になってくるため。	成田委員
11	地域社会	1	2	36			女性の創業や学び直しの支援、また男性の育児・家事・介護への参画の促進が、なぜ「男女ともに自分らしく活躍できる環境」につながるのか、丁寧な説明が必要ではないかと。	パターンリクティックな印象を受ける。施策1で多様な性の話だが、施策2では固定的なジェンダーを前提としていることについて、違和感を覚える人がいるかもしれない。	菊地委員
12	地域社会	1	3	37	主な取組み	海外都市との交流	「姉妹都市との交流」について、現在では交流以上の協力や連携のステージとなっている取組みも多いため、「交流」にとどまっていたらどうか、再検討が必要ではないかと。		菊地委員

千葉市基本計画（原案）分野別計画に対する委員からのご意見
 （「健康・福祉」、「子ども・教育」、「地域社会」、「文化・スポーツ」）

No.	分野	政策	施策	頁	該当箇所	文章	意見及び対案	意見の理由	委員
13	地域社会	1	3	37	主な取組み	市民の国際感覚の醸成と国際理解の推進	「市民の国際感覚の醸成と国際理解の促進」は、「国際感覚」や「国際理解」と、「国」をベースとした内容となっており、相手「国」を理解するという意味にとどまる。国や地域毎ではなく、国や地域に共通した課題の理解とその対処という「グローバル」という視点が抜け落ちてしまわないか。		菊地委員
14	子ども・教育				全体		子どもの一般的な定義は18歳までだと思うが、千葉市が有する2つの市立高校に関連する施策がなくてもよいのか。		菊地委員
15	子ども・教育	1	3	30			「困難な状況にある子供や家庭への支援の充実」の中に、外国人児童とその家庭が含まれていないのはなぜか。	施策3で扱っているが、支援の対象は「外国人児童など」と児童が中心となっているが、外国人児童の家庭への支援が今後重要（人口施策上も）となってくると思われる。施策5では国際交流活動が指摘されているが、外国人児童の家庭は支援の対象であると同時に、国際理解や国際交流活動を通じた教育効果の向上にとっては重要なリソースにもなり得る。	菊地委員
16	文化・スポーツ	1	1	41			都市を彩りイメージづけるアメニティとしてのパブリックアートについての言及（最後の文化・芸術とまちづくりの連携が関連していると思うが）が必要ではないか。		菊地委員
17	文化・スポーツ	1		41	全体		芸術分野を地域の中長期的な戦略と重ね合わせるには、文化・芸術を独立した項目として捉えるよりも、他の政策との横断的なつながりを持ち、それぞれの分野（例えば学校教育）との連携を模索していくことが重要ではないか。		林委員

千葉市基本計画（原案）分野別計画に対する委員からのご意見
 （「健康・福祉」、「子ども・教育」、「地域社会」、「文化・スポーツ」）

No.	分野	政策	施策	頁	該当箇所	文章	意見及び対案	意見の理由	委員
18	文化・スポーツ	1		41	全体		アーティストの育成・支援を設定した時に、具体的にどのような状態を作り出すことがその育成や支援につながるのか、国内外のケースを調べつつ、千葉市の独自性を作り出して欲しい。滞在環境一つとっても、アーティストの制作や調査に必要な人的又は機材などの環境面でのサポートを盛り込むのかによっても大きく変わってくる。どのようなアーティストの育成にどのような機会をつくるのかを全体感を持って考える必要がある。		林委員
19	文化・スポーツ	1		41	全体		アーティストがアウトプットするものへの評価だけでなく、アウトプットを創りだすための思考プロセスや調査方法を様々な領域に活かすことで、これまで活用されてこなかった資源の発見や人々の才能を開花させることが可能になる。そうしたアーティストをコミュニティの中でどのように受け入れていくか、どんなアーティストを受け入れるかを検証できる委員会のようなものがあってもよいのではないか。		林委員